



写真で振り返る50年

新たな大学病院を目指して

北海道医療大学 医療機関経営管理担当 副学長 山下 徹郎



初めてご挨拶申し上げます。この6月から北海道医療大学医療機関経営管理担当 副学長として着任しました山下徹郎です。生まれは網走、育ちは札幌。北大歯学部1973年卒業後、同口腔外科助手・講師13年、東日本学園大学(現北海道医療大学)口腔外科助教授として、当別の校舎と病院で教育・臨床に2年間従事いたしました。その後、恵佑会札幌病院歯科口腔外科で36年間にわたり、部長、上席副院長、顧問の立場で、病院歯科口腔外科医として、開業されている先生方にも協力し、その支援病院として良質な歯科口腔外科医療を住民の皆様へ届けて、地域医療のために邁進して参りました。また同時に口腔がん治療医として、治療成績とさらなるQOLの向上を目指し、形成外科・放射線科・腫瘍内科との集学的治療に、取り組んで、質の高い成果をあげて来られたと自負しております。

病院経営上も診療科の一員として、しっかりとその役割を果たして参りました。その間北海道医療大学客員教授となり、今回このような責任ある重い立場で戻って参りました。感無量ですが針の筵に座らされている心持ちです。

私にとって臨床を離れることに一抹の寂しさがありましたが、医療機関経営管理担当 副学長の役割は、其らの感傷を捨て去らなければならない程、大変重要・峻烈な職責で、これまで以上に一生懸命仕事に取り組み、全うしていくつもりです。

現在本学が置かれている状況は必ずしも安寧ではありません。

若者の恒常的減少、情報系学部への受験者移動傾向、定員未達による授業料収入の減少などにより、経営的には厳しい状況が続いており、収支改善は構造的に難しい状況です。さらに大学病院・クリニックとも赤字を出し続けており、大学運営は安心できる状況ではありません。

着任の第一義的目的地は現在経営的に厳しい状況に置かれた大学病院およびクリニックの収支改善です。これから2年間で現在赤字の半分程度は改善したいと考えております。職員皆様の心持ちと仕事の能率化と患者数の増加などにより、実現可能と考えております。これまでは余りにも、誰もが収支に関して鷹揚であったと言わざるをえません。4年後には北広島Fビレッジに病院を含めて大学全体が移転するという大プロジェクトが待っております。赤字体質解消はもう待たない時期になっております。北広島Fビレッジに移転する準備と、あいの里に残られる医療従事者と移動する人達へのサポートおよび、それに伴って患者さんや、住民の皆様にかかる迷惑を出来るだけ少なくするように、医療職員・事務職員一同が一体となり、地域の医療活動や広報活動に注力しなければならないと考えております。

今こそ北海道医療大学病院・クリニック運営の新たな1ページを開く為、病院長・歯科クリニック長共々、職員の皆様と協力して、この難局を乗り切っていくべきではありません。

CONTENTS

巻頭言：山下徹郎副学長	1
2024年度入試結果報告	2
国家試験結果報告	3
就職結果報告	4
新任教員・昇任教員等紹介・災害ボランティア派遣報告	5
創立50周年記念特別企画 第3弾 医療大のあゆみ	6
創立50周年記念講演会 (8/31) 開催報告	10
イベント開催報告	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	

2024年度
入試 結果報告

本年度の志願者数は4,247名

本年度入試の志願者総数は、4,247名(前年比104%)となりました。志願者の最も多かった学科は看護学科で、803名という結果でした。

特待奨学生制度を拡充

学業成績および人物の優れた入学者に対する経済支援のため、2023年度から全学部・学科を対象に特待奨学生制度を大幅に拡充し、2024年度から採用人数をさらに拡大しました。

2024年度入試結果

■2024年度入試結果		薬学部	歯学部	看護福祉学部		心理科学部	リハビリテーション科学部			医療技術学部	歯学部附属歯科衛生士専門学校	
		薬学科	歯学科	看護学科	福祉マネジメント学科	臨床心理学学科	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚療法学科	臨床検査学科	歯科衛生科	
総合型選抜 ※歯科衛生科 …AO入試	志願者数	8名	11名	26名	9名	19名	46名	16名	14名	32名	9名	
	受験者数	8名	11名	26名	9名	19名	45名	16名	14名	32名	9名	
	合格者数	8名	11名	17名	9名	18名	18名	11名	14名	12名	9名	
	入学者数	7名	10名	17名	7名	18名	18名	11名	14名	12名	9名	
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.5倍	1.0倍	1.1倍	2.5倍	1.5倍	1.0倍	2.7倍	1.0倍	
学校推薦型選抜 (一般) ※歯科衛生科 …推薦入試(一般)	志願者数	2名	0名	29名	0名	3名	18名	7名	5名	21名	0名	
	受験者数	2名	0名	29名	0名	3名	18名	7名	5名	21名	0名	
	合格者数	2名	0名	29名	0名	3名	18名	6名	5名	15名	0名	
	入学者数	2名	—	29名	—	3名	18名	6名	5名	15名	—	
	実質倍率	1.0倍	—	1.0倍	—	1.0倍	1.0倍	1.2倍	1.0倍	1.4倍	—	
学校推薦型選抜 (指定校特別) ※歯科衛生科 …推薦入試 (指定校特別)	志願者数	19名	7名	20名	14名	17名	24名	7名	31名	15名	4名	
	受験者数	19名	7名	20名	14名	17名	24名	7名	31名	15名	4名	
	合格者数	19名	7名	20名	14名	17名	24名	7名	31名	15名	4名	
	入学者数	18名	7名	20名	10名	17名	24名	7名	31名	15名	4名	
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	
一般選抜(前期) ※薬学部・歯学部 のみ ※歯科衛生科 …一般入試 ※2日目には 外国人留学生 特別選抜を含む	1日目	129名	90名	197名	50名	63名	129名	81名	57名	121名	2名	
	志願者数	2日目	92名	76名	155名	36名	54名	102名	67名	43名	114名	—
	3日目	78名	67名	122名	26名	56名	82名	58名	36名	83名	—	
	1日目	123名	85名	196名	50名	62名	129名	81名	57名	120名	2名	
	受験者数	2日目	83名	67名	150名	33名	51名	97名	63名	41名	108名	—
	3日目	69名	59名	113名	25名	50名	79名	56名	35名	90名	—	
	合格者数	172名	123名	159名	58名	84名	78名	88名	62名	70名	2名	
	入学者数	54名	44名	43名	10名	8名	23名	10名	5名	26名	—	
	実質倍率	1.6倍	1.7倍	2.9倍	1.9倍	1.9倍	3.9倍	2.3倍	2.1倍	4.5倍	1.0倍	
一般選抜(後期)	志願者数	29名	39名	21名	4名	8名	10名	4名	3名	12名	—	
	受験者数	26名	34名	18名	4名	8名	10名	4名	3名	11名	—	
	合格者数	25名	33名	14名	4名	8名	7名	2名	3名	5名	—	
	入学者数	8名	6名	10名	0名	1名	4名	0名	0名	4名	—	
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.3倍	1.0倍	1.0倍	1.4倍	2.0倍	1.0倍	2.2倍	—	
共通テスト 利用選抜(前期A)	志願者数	160名	89名	152名	52名	71名	111名	74名	61名	116名	—	
	受験者数	160名	89名	152名	52名	71名	111名	74名	61名	116名	—	
	合格者数	142名	75名	50名	48名	67名	34名	51名	36名	16名	—	
	入学者数	9名	3名	1名	3名	8名	5名	3名	2名	2名	—	
	実質倍率	1.1倍	1.2倍	3.0倍	1.1倍	1.1倍	3.3倍	1.5倍	1.7倍	7.3倍	—	
共通テスト 利用選抜(前期B)	志願者数	67名	48名	67名	24名	44名	56名	35名	25名	49名	—	
	受験者数	67名	48名	67名	24名	44名	56名	35名	25名	49名	—	
	合格者数	63名	45名	22名	23名	43名	20名	30名	17名	10名	—	
	入学者数	6名	1名	1名	0名	6名	3名	5名	0名	1名	—	
	実質倍率	1.1倍	1.1倍	3.0倍	1.0倍	1.0倍	2.8倍	1.5倍	1.5倍	4.9倍	—	
共通テスト 利用選抜(後期)	志願者数	22名	25名	14名	7名	12名	11名	8名	9名	12名	—	
	受験者数	22名	25名	14名	7名	12名	11名	8名	9名	12名	—	
	合格者数	22名	25名	4名	7名	12名	3名	4名	9名	2名	—	
	入学者数	5名	3名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	—	
	実質倍率	1.1倍	1.0倍	3.5倍	1.0倍	1.0倍	3.7倍	2.0倍	1.0倍	6.0倍	—	
社会人特別選抜	志願者数	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	—	
	受験者数	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	—	
	合格者数	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	—	
	入学者数	—	—	—	—	1名	—	—	—	—	—	
	実質倍率	—	—	—	—	1.0倍	—	—	—	—	—	
TOTAL	志願者数	606名	452名	803名	222名	349名	589名	357名	284名	585名	15名	
	受験者数	579名	425名	785名	218名	339名	580名	351名	281名	574名	15名	
	合格者数	453名	319名	315名	163名	254名	202名	199名	177名	145名	15名	
	入学者数	109名	74名	121名	30名	62名	95名	42名	57名	75名	14名	
	実質倍率	1.3倍	1.3倍	2.5倍	1.3倍	1.3倍	2.9倍	1.8倍	1.6倍	4.0倍	1.0倍	

国家試験 結果報告

各国家試験で本学卒業生が大健闘！

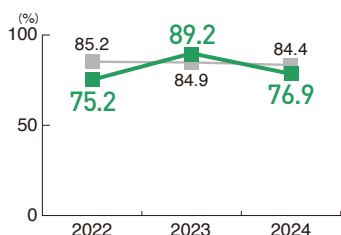
本学 全国平均

薬学部

薬剤師国家試験

全卒業生6,629名の96.9%が
薬剤師免許を取得。
2024年新卒者117名が受験し、
90名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)

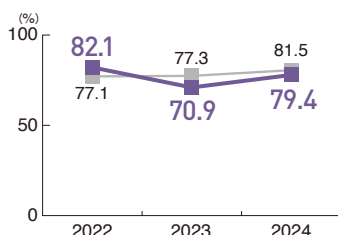


歯学部

歯科医師国家試験

全卒業生3,515名の98.3%が
歯科医師免許を取得。
2024年新卒者34名が受験し、
27名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)

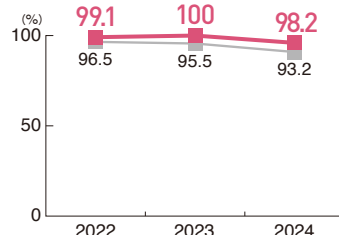


看護福祉学部／看護学科

看護師国家試験

全卒業生2,986名の99.1%が
看護師免許を取得。
2024年新卒者114名が受験し、
112名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)

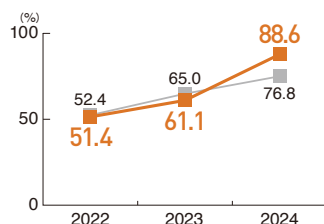


看護福祉学部／福祉マネジメント学科

全卒業生1,999名の63.6%が社会福祉士免許を取得。
社会福祉士は2024年新卒者35名が受験し、31名が合格しました。

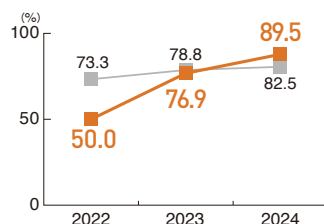
社会福祉士国家試験

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)



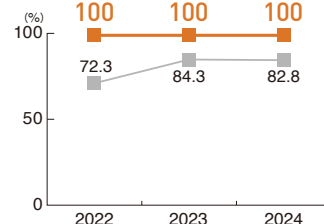
精神保健福祉士国家試験

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)



介護福祉士国家試験

■ 本学合格率(新卒のみ過去3年)

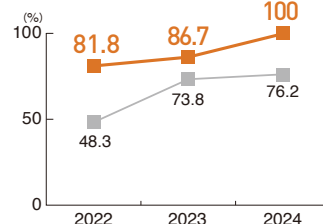


心理科学部／臨床心理学科

公認心理師国家試験

本学大学院修士課程生の97.6%が
公認心理師免許を取得。
※本学大学院は公認心理師の受験資格取得に
対応しています。

■ 本学合格率(大学院修了生)

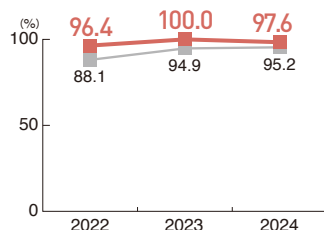


リハビリテーション科学部／理学療法学科

理学療法士国家試験

全卒業生636名の99.2%が
理学療法士免許を取得。
2024年新卒者82名が受験し、
80名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)

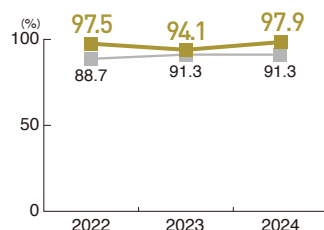


リハビリテーション科学部／作業療法学科

作業療法士国家試験

全卒業生312名の99.0%が
作業療法士免許を取得。
2024年新卒者48名が受験し、
47名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)

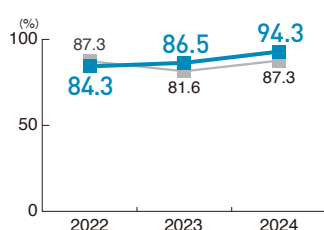


リハビリテーション科学部／言語聴覚療学科

言語聴覚士国家試験

全卒業生1,059名の93.2%が
言語聴覚士免許を取得。
2024年新卒者35名が受験し、
33名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ過去3年)

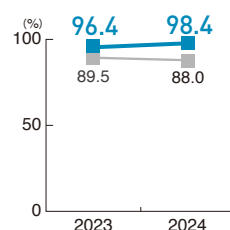


医療技術学部／臨床検査学科

臨床検査技師国家試験

全卒業生117名の98.3%が
臨床検査技師免許を取得。
2024年新卒者61名が受験し、
60名が合格しました。

■ 本学合格者の推移(新卒のみ)



就職 結果報告

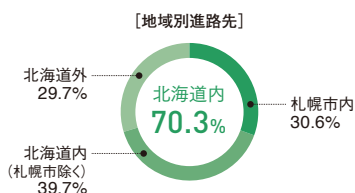
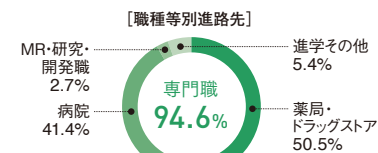
本学卒業生への評価の高さが、求人の質・量に直結。
より深い知識修得をめざし大学院へ進学する人も。

薬学部

病院や薬局など求人が豊富。
需要はさらに増加傾向。

■2024年3月
卒業生の就職先

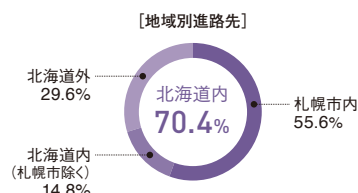
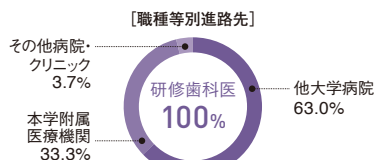
求人数	薬剤師 …… 3,810人 MR・研究・開発職 …… 282人
-----	------------------------------------



歯学部

国家試験に合格後は
大半が研修医として従事。

■2024年3月
卒業生の就職先

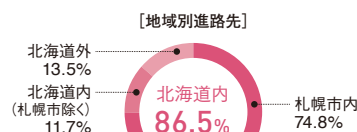


看護福祉学部／看護学科

看護専門職として
全国の病院で高い需要。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	看護師等 …… 11,774人
-----	-----------------

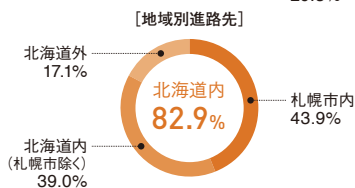
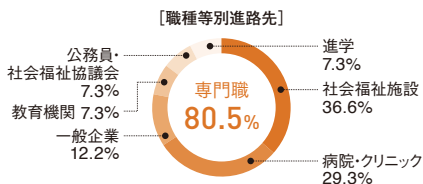


看護福祉学部／福祉マネジメント学科

就職は施設や病院をはじめ
公務員や一般企業など多様。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	医療機関相談員 …… 365人 福祉施設相談員・介護職員等 …… 2,868人 公務員・一般企業他 …… 6,374人
-----	---

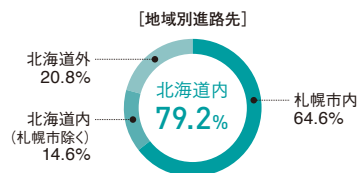
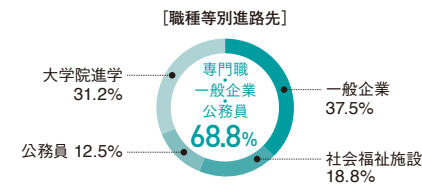


心理科学部／臨床心理学科

業界業種問わず幅広く就職。
大学院への進学も多数。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	心理職 …… 199人 一般企業・医療福祉分野事務等 …… 4,115人
-----	---

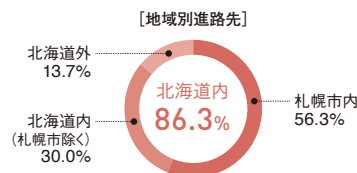
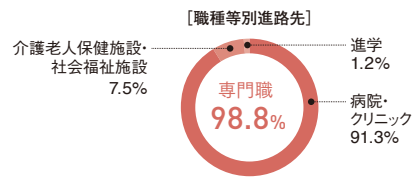


リハビリテーション科学部／理学療法学科

9割以上が専門職として
病院・クリニックで活躍。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	理学療法士 …… 4,586人
-----	-----------------

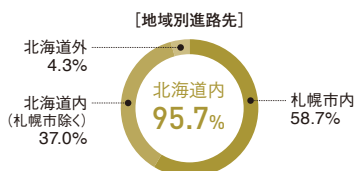


リハビリテーション科学部／作業療法学科

需要の高まりで求人は急増。
卒業生全員が就職。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	作業療法士 …… 4,249人
-----	-----------------

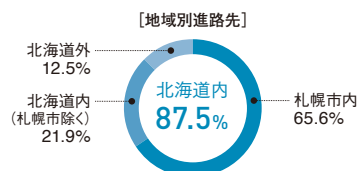
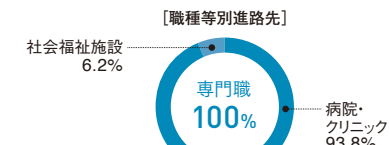


リハビリテーション科学部／言語聴覚療学科

8割以上が言語聴覚士として
病院・クリニックで活躍。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	言語聴覚士 …… 2,435人
-----	-----------------

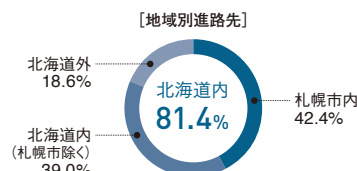
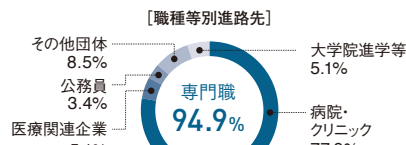


医療技術学部／臨床検査学科

専門的な即戦力として
現場でのニーズが高い。

■2024年3月
卒業生の就職先

求人数	臨床検査技師 …… 1,004人
-----	------------------



新任教員・昇任教員等紹介

新任教員

薬学部 助教
(実務薬学〈実務薬学教育研究〉)
奥田 衣理 (おくだ えり)

薬学部 助教
(創薬化学講座〈薬化学〉)
鈴木 桃子 (すずき ももこ)

昇任教員

薬学部 助教
(実務薬学〈実務薬学教育研究〉)
山本 隆弘 (やまもと たかひろ)

能登半島地震災害ボランティア派遣報告

No. 1 薬学部 助教 窪田 篤人

私は、北海道薬剤師会メンバー第11陣として能登半島地震の被災地医療支援に派遣されました。

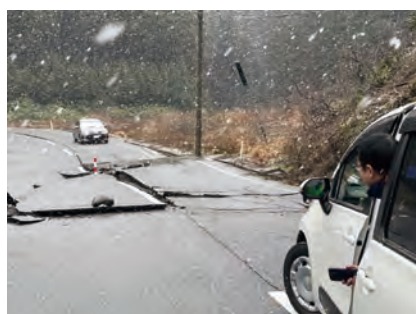
2月27日に金沢市に到着し、災害派遣活動用車両を受け取り別動隊として、1名で石川県七尾市に停泊中の自衛隊船はくおうに移動しました。引き継ぎを行い、支援物資の一般用医薬品等を整理し、被災者の方々の受け入れに加え、船員の健康相談の対応も行いました。

29日に穴水町へ移動し、現地薬局やJMATと今後の対応について情報共有。3月1日は、輪島市七浦、浦上、諸岡地区で避難所支援を行いました。

フェーズが既に終盤であったことから、医療支援のニーズが変化していました。健康相談も、急性期疾患から血圧など循環器の慢性症状に関するものや復興作業で生じた怪我に関する相談が多くなっていました。それに応じて、当初想定し準備されていた一般用医薬品では対応しきれないものもありました。

印象に残っているのは、自衛隊船で支援した珠洲の人たちの力強さです。色々なお話をする中で、必ず復興するから、今度は観光で来てねとお声がけいただきました。

薬剤師の重要な立ち位置は、扱える物品の種類が多いという点です。医療用のみならず、一般用医薬品や医薬部外品の扱いにも専門性を発揮します。加えて、薬剤師は学校環境衛生の保全など衛生管理業務も行います。従って、避難所の衛生管理や環境管理も通常業務の延長線にあります。



No. 2 歯学部 教授 越野 寿

令和6年能登半島地震に際し、北海道JDATメンバーとして、北海道歯科医師会の先生方とともに活動して来ましたので概要を報告いたします。

2月18日に小松空港に到着し、宿舎にて物資の準備と事前ミーティングを行いました。2月19日は、9時45分に宮本歯科医院(能登町)に到着し、宮本先生に現地の状況と支援活動内容の説明を受けました。現地での活動は2月19、20日の2日間で、避難所4か所を訪問し、口腔衛生物資の確認と補充、被災者口腔衛生指導や口腔アセスメントを行いました。

依頼された任務を終え、能登役場のDHART(災害時健康危機管理支援チーム)にて活動報告を行い、翌日に帰路につきました。なお、徳島県歯からのチームは本学8期卒業の下 淳先生(写真中央右)が参加されていました。

最後になりましたが、一日も早い復興をご祈念いたします。



今回の報告以外にも、本学薬学部の櫻田講師や複数の同窓生も避難所支援等で派遣されました。
罹災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



Health Sciences University of Hokkaido 50th Anniversary

創立50周年記念特別企画 第3弾

医療大の あゆみ

1974年の開学から、50年。
それは、医療系総合大学としての進化の歴史でした。
魅力ある大学づくりは、続きます。
これからも、あたたかいご支援をお願いいたします。



1974-1984

1974年

東日本学園大学 設立・薬学部 開設

当時の北海道には、多くの無医村地区が存在し、医科系の総合大学は国立以外ありませんでした。この医療過疎を解消するために学園構想は動き出し、1974年4月、東日本学園大学を設立。薬学部第1期生を迎え入れました。大学名の名付け親は、当時の北海道知事・堂垣内尚弘(後に本学第3代理事長就任)です。



音別と当別 2つのキャンパス

学園構想は、音別町(現・釧路市)の意向と合致し、雄大な大学村のイメージが練り上げられました。また、専門課程校舎と歯学部附属病院は、札幌に隣接する当別町に設置することが決定。地鎮祭を実施した10月10日(音別町は1972年、当別町の薬学部専門校舎は1974年)を、創立記念日としました。



1978年

歯学部 開設・歯学部附属病院 開院

道内で2校目、私立大学では初となる歯学部が1978年4月に開設しました。また、同年12月には歯学部附属病院も開院。学生の臨床教育や歯科医学研究の場となることはもちろん、地域社会の医療福祉サービスが向上するという、大きな期待を受けてのスタートとなりました。



1984年

歯学部附属歯科衛生士専門学校 開校

実践的な歯科保健医療の担い手が積極的に求められる中、歯学部附属歯科衛生士専門学校を開校しました。校舎は歯学部附属病院に隣接する歯学部C棟の1階・2階に位置。実習用のユニットやエックス線装置など高度な設備を導入し、歯科系大学附属校としての充実した学習環境を整備しました。



1985-1994

1986年

佐々木記念館・総合図書館 完成

1970年代後半から、体育館、総合グラウンド、総合食堂など、充実したキャンパスライフを実現するための環境整備に次々と着手。1986年11月には、佐々木記念館・総合図書館が完成しました。旧教養部・旧薬学部・旧歯学部の各図書室を統合し、近代的な佇まいは本学のシンボルとなりました。



1993年

看護福祉学部 開設

1993年4月、看護福祉学部を開設しました。看護と福祉を融合した全国初の学部で、後に教育理念のひとつとなる「保健と医療と福祉の連携・統合」というテーマのもと、独自のカリキュラムを展開。3つ目の学部が誕生したことで、創立以来めざしてきた医療系総合大学の確立に向けて、また一歩前進しました。



1990年

札幌医療福祉専門学校 開校

大規模な都市計画が進んでいた札幌市北区あいの里に教育研究的資源を還元するため、1990年4月に札幌医療福祉専門学校を開校。看護学科(3年制)41名、介護福祉学科(2年制)78名が入学しました。在宅ケアのニーズが高まる中、看護・介護専門職の養成をスタートした意義は大きかったといえます。



医科歯科クリニック 開院

あいの里では、札幌医療福祉専門学校と同時に、医科歯科クリニックの建設計画も進行していました。1990年10月に開院し、医科診療部、歯科診療部、薬品情報室を設置。学生の現場指導もできるようにするなど、「教育・研究・医療奉仕」の三位一体が実現しました。



学校法人 東日本学園

北海道医療大学

1994年

北海道医療大学に大学名を変更

大学名の変更については、医療系総合大学の確立という将来計画のもとに、約10年間にわたって慎重な検討が行われてきました。そして、創立20周年を迎える1994年4月から、大学名を「北海道医療大学」に変更。なお、学園の伝統を継承するため、学校法人名は「東日本学園」に決定しました。





1995-2004

2001年 札幌サテライトキャンパス 開設

北海道庁を見わたす好立地に、2001年9月、札幌サテライトキャンパスを開設。生涯学習事業、臨地実習のガイダンス、大学院の講義、同窓会活動、研修会などで活用される拠点です。現在の札幌サテライトキャンパスは、JR・地下鉄札幌駅から徒歩3分の「アスティ45」12階にあります。



2002年 心理科学部 開設

人々の心やコミュニケーションに関する社会的問題・事件が頻発する中、札幌あいの里キャンパスに心理科学部を開設しました。学部名も、臨床心理学科と言語聴覚療法学科というユニークな学科編成も全国初。心の問題と身体科学を対応させたカリキュラムによる、高度専門職の養成がスタートしました。



2005-2014

2005年 北海道医療大学病院 開院

医科歯科クリニックの増改築、歯学部附属病院の病棟・手術室の移設を経て、2005年7月、札幌あいの里キャンパスにチーム医療、地域医療を実践する北海道医療大学病院を開設。医科・歯科部門のほか、全学部に対応する多彩な相談室や治療室などを設置し、教育・研究施設としてもさらに充実をはかりました。



2013年 リハビリテーション科学部 開設

少子高齢化など困難を抱える新たな時代を背景に、リハビリテーション科学部を開設。5学部8学科の連携による独自教育をスタートし、医療系総合大学としてもさらに進化した。2015年には心理科学部から言語聴覚療法学科が加わり、リハビリテーション3分野を網羅する全国でも数少ない学部となりました。



中央講義棟 10階建てに増築

リハビリテーション科学部の新設に伴い、既設の中央講義棟の増築に着手。地上10階建ての新たなランドマークが、2013年3月に完成しました。各学部の実習室や、全学部で使用する大講義室、LL教室、演習室などを設置。最上階の10階には、広大な石狩平野を一望できる展望ラウンジも整備されました。



2010年 札幌サテライトキャンパス 移転

「毎日札幌会館」6階に開設された札幌サテライトキャンパスでは、生涯学習事業、大学院講義、同窓会活動など活用機会が拡大し、利用者が増加。それに伴い2010年4月、JR・地下鉄札幌駅から徒歩3分の「アスティ45」(ACU内)12階に移転しました。





2015-2024

2015年

地域包括ケアセンター 開設

国が推進する地域包括ケアシステムの構築にいち早く対応し、2015年12月、札幌あいの里キャンパスに地域包括ケアセンターを開設しました。訪問看護、居宅介護支援、在宅歯科診療の実践を通して地域社会に貢献すると同時に、多職種連携や在宅ケアの実践的な教育を行う拠点でもあります。



2019年

医療技術学部 開設

医療の高度化・複雑化によって、科学的根拠に基づく検査データの重要性が高まる中、幅広い知識と高度な技術を備えた専門職を養成するために医療技術学部を開設。臨床検査技師を養成する道内初の4年制私立大学となり、6学部9学科の医療系総合大学として、チーム医療を学ぶ教育環境もさらに充実しました。



2023年

北海道ボールパークFビレッジ 基本合意締結

北広島市、株式会社ファイターズ スポーツ & エンターテインメントとともに、北海道ボールパークFビレッジエリア内を予定地とする大学キャンパス・病院新設などの計画について、三者基本合意を締結。教育理念「保健と医療と福祉の連携・統合」に基づき、医療系総合大学としてこれからも進化し続けます。

北海道ボールパークFビレッジに関する計画について合意締結を発表したのは、2023年10月10日。本学の歴史がはじまった創立記念日に、新たなスタートを切りました。



©H.N.F.

2024年

北海道医療大学 創立50周年





2024年8月31日(土)、本学園創立50周年記念講演会をANAクラウンプラザホテル札幌で開催しました。会場には教職員や在学生・卒業生、そして一般の方など278名の方にお越しいただき、オンラインでは145名の方にご視聴いただきました。この講演会では、本学心理科学部臨床心理学科卒業生で、フリーアナウンサーとして活躍中の千葉真澄さんに司会を務めていただきました。

50周年記念事業企画委員長の和田副学長による開会の言葉から始まり、鈴木理事長、三国学長の挨拶の後、吹奏楽団による記念演奏がありました。楽団は本学吹奏楽部や教員、そして卒業生等を中心とした50周年のための特別編成で、看護福祉学部・福祉マネジメント学科の志水学科長の指揮で披露されました。楽曲は行進曲「威風堂々」より第一番(作曲 E. エルガー)とエルザの大聖堂への行列(作曲 R. ワグナー)の2曲で、開演前は緊張している様子の楽団学生でしたが、50周年記念に相応しい素晴らしい演奏でした。



メインの講演では、本学客員教授で2023WBC侍JAPANヘッドコーチを務めた白井一幸氏を講師にお招きし「目的を持って生きる」をテーマにお話いただきました。和やかな雰囲気でご講演いただきながらも学園がチームとして進むべく指針となる有意義なお話を拝聴することができ、今後ますますの学園発展に向けた新たなスタートとして、出席した教職員らは気持ちを引き締めていました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



REPORT
1

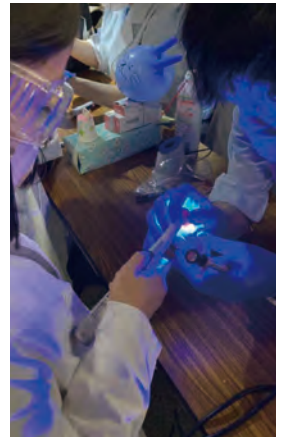
【開催報告】職業体験イベント

「医療職体験ビレッジ～見る知る薬剤師・歯科医師・歯科衛生士～」

2024年5月12日(日)に札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)にて職業体験イベント「医療職体験ビレッジ～見る知る薬剤師・歯科医師・歯科衛生士～」を開催しました。

本イベントは、小学生・中学生・高校生向けの体験コンテンツと、一般の方向けにお薬やお口の相談コーナーを設け、幅広い年代の方々に楽しみながらそれぞれの職種について知っていただくため、北海道薬剤師会・札幌薬剤師会・北海道歯科医師会・北海道歯科衛生士会の後援のもと、企画しました。薬剤師体験として、お菓子を錠剤に見立てた分包調剤や、疑似軟膏を用いた外用薬の混合調剤を体験するコーナーを設置しました。さらに、実際に大学で使用する実験器具を用いてアロマスプレー作りも体験できるコーナーも設置し、大学での学びの一部を体験していただきました。また、歯科医師・歯科衛生士体験として、毎年当別キャンパスにて実施している小学生の1日歯医者さん体験(事前予約制)や指の印象採得・むし歯の治療体験・歯磨き圧測定体験・口腔清掃用具体験ができるコーナーを設置しました。体験の参加者には白衣を着ていただき、職種になりきって真剣に手を動かしている姿が見られました。

当日は本学教員や在学生の他に、薬剤師として活躍する卒業生7名と高校生ボランティア22名にも運営にご協力いただきました。体験・イベントにご参加くださった方は100名を超え、多くの参加者の方に本学や薬剤師・歯科医師・歯科衛生士の職業について知っていただく機会となりました。お立ち寄りくださった皆様、ありがとうございました。

REPORT
2本学YOSAKOIソーラン祭り部が
優秀賞を受賞しました。

[第33回YOSAKOIソーラン祭りU-40大会]

本学YOSAKOIソーラン祭り部(チーム名「北海道医療大学～桜雅～」)が、北海道の夏の始まりを告げる一大イベント、6月5日(水)から9日(日)まで開催された第33回YOSAKOIソーラン祭りU-40大会において2年連続となる優秀賞を見事受賞いたしました。

今年のテーマは「桜空(おうぞら)」と題し、厳しい自然の中で咲き誇る満開の桜を彷彿とさせる、学生らしいエネルギー溢れる演舞を披露し、このような素晴らしい成果を得ることができました。学内外を問わず温かい支援と熱い声援を送ってくださった皆様に心より感謝申し上げます。

REPORT
3令和6年度大学祭
「第44回九十九祭」
が開催されました。

44回を迎える北海道医療大学大学祭「九十九祭」が6月15日(土)から2日間にわたり開催されました。

日曜は午後からあいにくの空模様となりましたが、オープンキャンパスの同日開催も相まってたくさんの方にご来場いただきました。図書館前に設営された特設ステージではタレントをお招きしたスペシャルライブや学生団体による発表が行われ、イートインスペースでは学生有志・キッチンカーによる出店、屋内でも文化系サークルによる学術発表が行われるなど学内各所で賑わいをみせていました。

REPORT
4ホームカミングデーを
開催しました。

2024年9月1日(日)、当別キャンパスにおいて第2回ホームカミングデーを開催しました。

ホームカミングデーは、本学を卒業した同窓生が母校に集い親睦を深めることで、同窓生相互の発展と連携強化につなげ、また、思い出多いキャンパスで母校の現状や教育研究の諸活動などを紹介するとともに、恩師・教職員並びに学生と交流することにより、同窓生との連携をより一層に深めることを目的として北海道医療大学後援会との共催により企画しています。

オープニングセレモニーでは、学生キャンパス副学長(SCP)の学生達が進行を務め、三国学長からの挨拶の後、和田副学長より8月31日に開催された本学創立50周年記念講演のご報告、記念講演として三国学長より本学の現況について、それぞれ講演いただきました。

学内見学ツアーでは図書館や歯学部が多職種連携実習室、中央講義棟10階ビューラウンジをご案内し、昼食は実際の食堂のメニューを食べながら教員との懇親会を行いました。

学部・学校別の企画では、それぞれ出身学部別に分かれて現職教員との交流や学内見学ツアーでは回りきれなかった施設等を見学し、参加した卒業生は久しぶりに訪れた母校の雰囲気を楽しんでいた様子でした。



北広島市と包括連携協定を締結しました

2024年6月26日(水)、北海道医療大学は北広島市と包括連携協定を締結いたしました。

本学は2023年10月に北広島市、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントと北海道ボールパークFビレッジエリア内における大学キャンパスなどの設置計画について三者基本合意を締結していますが、今般、更なる連携強化をはかることを目的として包括連携協定を締結いたしました。連携事項として「保健、医療、福祉の向上」、「地域活性化、地域支援に関すること」、「地域人材の育成」、「産業、学術及び文化の振興に関すること」などを掲げ、北広島市と本学が相互に発展していくことを目指しています。

今後、本連携協定に基づく各種の連携事業を実施してまいります。事業実施が決まり次第、ホームページ等で詳細をお知らせいたします。なお、本学が自治体と連携協定を締結するのは当別町、滝川市、苫小牧市、浜頓別町に続き5件目となります。



【北広島市連携事業】

「ANAオープンゴルフトーナメント」にて北海道医療大学健康相談ブースを出展しました

2024年9月14日(土)と15日(日)に、北広島市にある札幌ゴルフ倶楽部・輪厚コースで行われた「ANAオープンゴルフトーナメント」にて、北海道医療大学健康相談ブースを出展しました。

北海道医療大学と北広島市は2024年6月に包括連携協定を締結しており、北広島市とコラボレーションする形で出展を行いました。

健康相談ブースでは「運動年齢チェック」「お薬相談」のコーナーを開設し、2日間合計で82人に来場いただきました。「運動年齢チェック」では理学療法士が歩幅を計測したり、座った状態から片脚で立ち上がれるかのテストをしたりして、自分の運動年齢を算出しました。参加者は結果を見て大いに盛り上がる光景が見られました。また「お薬相談」では薬剤師が相談相手となり薬の飲み合わせや体調についての話を聞きました。参加者は薬剤師からのアドバイスを真剣に聞く様子が見られました。

今後の予定として、北広島市内で医療職の職業体験事業に参画することを計画しており、より一層北広島市との連携事業を推進していきます。



EDITOR'S NOTE

本学は今年50周年を迎えました。私は本学と同年代ですが、それに照らし合わせると昭和、平成、令和と異なる時代に、様々な学生を育んできたのだと想像します。

令和はまだ浅いとは言え、コロナ明けからは大きく時代が変換しようとしているのを実感します。学生の学習スタイルもその一つで、紙でのレポート提出からオンライン上での提出が当たり前になりました。教科書も電子版が発行され、iPadなどの電子機器に直接書き込みながら学習する様子を目にすることが増えてきています。様々なものがデジタル化され、利便性が求められますが、どうしてもそれに倣わないのが人の心だと思います。医療人として、患者様の気持ちや、ご家族の思いに心を寄せるには様々な人間関係の構築や価値観の多様性を知り、認めること、物事を多角的に捉えることなどの経験が必要であると思います。大学は知識を得る場のみならずそれらを育む場であり、学生には本学にいる間に多くの人と接する経験を積んで欲しいと願っています。

さて、少子化が進む時代の中で本学も選ばれる大学にならなければなりません。毎年入試広報課と教職員が額を合わせどのように魅力をアピールするのが良いか考えています。様々な場でイベントをすることも増えてきました。もしどこかで本学のイベントを見つけた時は是非お声がけください。我々の励みになります。今後とも地域の皆様や医療現場の皆様と共に、未来につながる活動を広報していきたいと思っています。今後ともご支援の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(S.K記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.183

STAFF ● 平野 剛 町田 拓自 志茂 剛 飯嶋 雅弘
内ヶ島 伸也 奥田 あり 鈴木 和 青藤 恵一
福田 実奈 大須田 祐亮 山田 桃子 葛西 聡子
近藤 啓 高橋 祐輔 秋元 奈美 三川 清輝
小林 昭博 土橋 幸

発行日 ● 2024年10月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL: 0133-22-2113

https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail: nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。